

事後評価シート

コード 11-2-6	事務事業名 教育振興事業(移動教室)	所管部課 学校教育部学務課
---------------	-----------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 学校内外の社会生活の経験に基づき、人間相互の関係について、正しい理解と協同、自主及び自律の精神を養う。		事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業	
	実施内容、実施方法 6年生の児童を対象に、主に市の施設である菅平少年自然の家を利用した2泊3日の体験学習(キャンプ・スキー教室等)を年1回実施する。移動手段であるバスの借上げ費用については市が負担し、宿泊費等は保護者が負担する。		根拠法令等	
	事業開始時期	合併前から	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

評価指標の設定	活動指標名 実施回数	活動指標の考え方(定義) 移動教室を実施した回数		
	成果指標名 1次 参加者数	成果指標の考え方(定義) 1次 移動教室に参加した児童数		
	1次	1次		
	2次 文化的な理解の深まった児童数	2次		

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)		9,396	10,221	11,336	12,110
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		9,396	10,221	11,336	12,110
	所要人員(B)	人	0.02	0.02	0.02	0.02
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	165	167	164	164
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	9,561	10,388	11,500	12,274
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (参加者数)	千円	7	7	7	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	校数			19	19
	実績値	校数	19	19	19	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	千円			1,543	1,600
	実績値	千円	1,419	1,426	1,543	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	東京都26市で同様の事業を実施しているが、補助の水準については不明。他市の補助水準についても調査を実施する。
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし

コード 11-2-6	事務事業名 教育振興事業(移動教室)	所管部課 学校教育部学務課
---------------	-----------------------	------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的・適切さ・目標	目的の妥当性 1 上位施策の目的と一致していない・上位施策がない。	▼	1
	目標の妥当性 3 市が独自に目標を定量的に設定している	▼	3
	緊急性 3 どちらかと言えば、実施した方がよい	▼	3
2 市が関与する必要性	法的義務性 1 法律・条例・要綱・要領等で実施が規定されていない	▼	1
	必要性 1 希望する一部の市民等以外にあまり関係がないサービスである	▼	1
	民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼	4
3 内容の適切さ	ニーズ 3 市民(庁内)ニーズが明確に把握できており、ニーズに見合ったサービスである	▼	3
	規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	▼	1
	公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である	▼	2
4 実施手段の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	▼	4
	効率性 1 具体的な計画や目標等に基づいたコスト低減には特に取り組んでいない	▼	1
	独自性 5 国・都及び庁内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼	5
合計			29

総合評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	引き続き、宿泊を伴う集団生活を通して、当日までの係の仕事や、実際に移動教室に参加しての体験・学習により、集団生活の中での規律、友達との協力、さらに自主的な精神等、学校内では学べないものを体得させるため、学校教育の一環として実施する必要がある。

18年度における改善点	宿泊日数・実施回数とも他市と同等の水準にあるが、今後、他市の状況及び保護者の要望及び学校の意見等を取り入れ随時検討を要す。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>・各市の状況把握に努め、保護者負担軽減事業全体で振興事業のあり方・必要性について検討すべきである。</p> <p>・低所得者に対しては、就学援助事業で支援されるため、それ以外の一般家庭に対しては、縮小の方向で見直すことも検討すべきと考える。</p>
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>二次評価記載のとおり、各市の状況把握に努め、当事業を含め就学援助事業との関係を図りながら、保護者負担軽減事業全体で振興事業のあり方・必要性を検討すべきである。</p> <p>当面は、26市の実施状況を調査し、市の補助水準を把握し、自己負担を検討されたい。</p>
--------	---	--